

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年10月1日～10月7日)

平成 27 年(2015 年)10 月 9 日

H E A D L I N E S

## 政治

「法と正義」(PiS), 世論調査で引き続きリード  
 ドウダ大統領, キスカ・スロバキア大統領と会談  
 チャフコフスキ外務副大臣, EU難民支援計画への800万ズロチの拠出を表明  
 シェモニャク副首相兼国防相のストルテンベルグNATO事務総長との会談

## 経済

ポーランドは競争力に注力すべきとサックス教授  
 9月のPMIは50.9ポイント  
 政策金利は据え置き  
 9月の倒産件数は57件  
 9月の失業率が一桁台に  
 干ばつの影響で野菜が値上げ  
 9月の新車登録台数は上昇  
 ポーランド国内のVW製ディーゼル排ガス不正ソフトウェアの組込み車の状況  
 シェラゴルダ鉱山が開山から1周年  
 タウロン社の幹部が交代  
 反スモッグ法に大統領が署名

## 大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 ポズナンにおける領事出張サービスについて  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

「法と正義」(PiS)、世論調査で引き続きリード【8日】

25日に総選挙を控える中、最大野党「法と正義」(PiS)が世論調査で一貫してリードを保っている。7日・8日に調査機関 Millward Brown 社が実施した世論調査では、PiS及び統一右派が35%、与党第1

党・市民プラットフォーム(PO)が19%、統一左派が11%、近代ポーランドPLが8%、与党第二党・農民党(PSL)及びピクキス2015が5%の支持を得ている。

## 外交・安全保障

ドゥダ大統領、キスカ・スロバキア大統領と会談【2日】

2日、ドゥダ大統領は、ポーランド・スロバキア国境のスロバキア側の町にて、キスカ・スロバキア大統領と会談し、8日・9日に予定されているV4首脳会合を視野に、V4を始めとする地域協力、独露間のガス・パイプライン「ノルド・ストリーム II」等につき意見交換した。ドゥダ大統領は、「ノルド・ストリーム II」建設計画は政治的に大きな影響をもたらすものであり、V4諸国首脳が団結して同計画への反対姿勢を示すことを期待している旨述べた。

チシャフコフスキ外務副大臣、EU難民支援計画への800万ズロチの拠出を表明【2日】

2日、チシャフコフスキ外務副大臣は、EUによるEU域外難民キャンプへの支援にポーランドが800万ズロチを拠出する方針を表明した。

シェモニャク副首相兼国防相のストルテンベルグ NATO事務総長との会談【7日】

7日、シェモニャク副首相兼国防相は、8日から開催されるNATO国防相会合出席のために訪問しているブリュッセルで、ストルテンベルグNATO事務総長と会談し、2015年ウェールズでの首脳会合において合意された事項の実施及び来年ワルシャワで開催されるNATO首脳会合について協議をおこなった。

## 経 済

## 経済・財政政策

ポーランドは競争力に注力すべきとサックス教授【2日】

ポーランドは中欧移行経済の成功例であり、今後は安い労働力に頼るだけでなく競争力をつけること

が課題とジェフリー・サックス教授が2日の European Forum for New Ideas で発言、GDPの2%を研究開発に当てることを提言。

## マクロ経済動向・統計

9月のPMIは50.9ポイント【1日】

9月の購買担当者景況指数(PMI)は8月の51.1ポイントから下落し50.9ポイント。50ポイント上は維持されているものの下降傾向が続いており、昨年9月以降最低の数字。

政策金利は据え置き【6日】

中央銀行(NBP)は、政策金利が1.5%で据え置かれると発表。政策金利は昨年3月の引き下げ以降1.5%を維持している。

9月の倒産件数は57件【6日】

ユーラー・エルメス社によれば、9月の倒産件数は8月の62件からさらに減少して57件。2014年9月の71件と比べると大きく減少している。

9月の失業率が一桁台に【7日】

労働省は、9月の失業率が9.9%になったと発表。1989年の民主化以降、一桁台の失業率は2度目であり、2年前には13%であった。今年末まで一桁台を維持したいと労働大臣がコメント。

## ポーランド産業動向

干ばつの影響で野菜が値上げ【1日】

今夏の干ばつにより、野菜と果物の価格が上昇見込みであると農業省が発表。特に野菜は昨年と比べ収穫が5%減の見込み。

9月の新車登録台数は上昇【6日】

2015年9月の乗用車及び商用車の登録台数は32,018台となった。これは、前年同月比約16%増、前月比では約18%増であった。1月から9月までの累計でも前年同期比を6.5%上回っている。

**ポーランド国内のVW製ディーゼル排ガス不正ソフトウェアの組み込み車の状況【7日】**

環境省によると、ポーランド市場に流通しているフォルクス・ワーゲン及びそのグループ企業の自動車

のうち、ディーゼル排ガスを操作するソフトウェアが組み込まれたものは139,000台以上あるという。環境省によれば、現在、経済省、インフラ省さらには競争・消費者保護局(UOKiK)とこの問題を協議しているという。

**エネルギー・環境****シエラゴルダ鉱山が開山から1周年【1日】**

1日、KGHM社と住友グループが手掛けるシエラゴルダ鉱山は開山から1周年を迎えた。同鉱山は7月に商業生産を開始し、42億米ドルに上る投資が行われた。第一段階で計画しているフル生産には11月に達すると見込まれている。しかし、KGHM社のWirth社長は、モリブデンの生産量が計画よりも少なることを認めている。また、2016年2月には第2ステージ開始について明らかにすると見られている。同鉱山はその埋蔵量から20年以上採掘可能とみられており、また低コストでの生産に優位性があると言われている。

**タウロン社の幹部が交代【1日】**

タウロン社の監査役会はルベラ社長他の退任を決定した。理由は明らかにされていないが、Brzeszczewo 炭鉱の同社長らは同炭鉱の買収に否定的な態度や購入条件を提示していたことが、国有財産省に交代させるには十分な状況と写ったと言われている。後任には PGNiG 社副社長等を務めた Jerzy Kurella 氏が就任している。同氏は就任に当たり、

Brzeszczewo 炭鉱の速やかな買収を目標として掲げている。

**反スモッグ法に大統領が署名【6日】**

ドゥダ大統領は、いわゆる「反スモッグ法」への署名を行った。大統領府の発表によると、この法律により地方政府はその管轄内における大気質改善や騒音対策に向けた対策を取ることできるようになる。また、発表では石炭部門における技術開発のチャンスにもつながるとも述べている。また、今回の署名に関し、シュテルスキ大統領府国務次官は暖房への投資を促すもので、石炭の利用を禁止するものではないと説明している。さらに、大統領は法律の実施状況を監視し、低所得者層にとって危険をもたらすような運用(石炭焚きの禁止等)がなされる場合、必要な改正も行うとも述べている。

クラクフは欧州でも大気汚染が深刻であると指摘されており、2013年にはマウオポルスキエ県の地方議会が家庭における石炭の直焚きを禁じる決議を行っている。しかしながら、最高行政裁判所はこの決議は違憲であるとしていた。

**大使館からのお知らせ****大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

**東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

**ポズナンにおける領事出張サービスについて**

大使館は、10月24日(土)10時から13時までの間、HOTEL Mercure Poznan Centrum内、会議室

(ul. Roosevelta 20, 60-829 Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。  
<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishucchou20151024.pdf>

文化行事・大使館関連行事

**〔開催中〕日本人児童・生徒による美術作品展【9月7日(月)～10月30日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、トルン児童美術作品ギャラリーセンター主催による国際美術コンクールに寄せられた日本人児童・生徒の応募作品を展示中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**〔開催中〕ポーランドの日本美術傑作展【9月11日(金)～10月25日(日)】**

スタロヴァ・ヴォラ市、スタロヴァ・ヴォラ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ポトカルパチェ県、スタロヴァ・ヴォラ市, ul. Sandomierska 1

詳細:

<http://www.muzeum.stalowawola.pl/pl/wystawy/wystawy-czasowe/item/1453-arcydzieła-sztuki-japońskiej-w-kolekcjach-polskich>

**〔開催中〕展覧会「浮世絵とのお話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

**〔開催中〕展覧会:「芸人、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

**〔予定〕第10回日本文化の日【10月9日(金)～10日(土)】**

ノヴァ・ルダ市にて、ノヴァ・ルダ市文化センター主催による『第10回日本文化の日』が開催されます。茶道・風呂敷のワークショップ、日本に関する展示会、日本の映画上映会などが予定されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県、ノヴァ・ルダ市, ul. Strzelecka 2a

詳細: <http://mok.nowaruda.pl/>

**〔予定〕ポーランドの日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】**

ヴロツワフ市、ヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されます。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: [http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi\\_wystaw/zapowiedzi\\_wystaw.html](http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html)

**〔予定〕展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】**

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催されます。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されます。

開催場所: シロンスク県、グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

**【予定】第6回柔道オープン選手権【10月17日(土)】**

ジャルフ市にて、学生スポーツクラブ「Judoka Imbramowice」主催による『第6回柔道オープン選手権大会』が開催されます。

開催場所:ドルヌィ・シロンスク県, ジャルフ市, ul. Piastowska 10a

詳細:<http://www.judoka.com.pl>

**【予定】日本文化イベント「日本により近く」【10月18日(日)】**

ザブジェ市にて、学生スポーツクラブ「アイキドウ」主催による日本文化イベント『日本により近く』が開催されます。合気道デモンストレーションのほか、着物のプレゼンテーション、折り紙ワークショップ、寿司の試食などが予定されています。

開催場所:シロンスク県, ザブジェ市, ul. Matejki 8

**【予定】フォーラム「新しい日本の技術」【10月23日(金)】**

クラクフ市にて、ラッキーマンデー広告代理店主催によるフォーラムと写真コンテスト『新しい日本の技術』が開催されます。日本の技術についての講義などが予定されています。

開催場所:マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. Marii Konopnickiej 26

詳細:<http://www.japonskietechnologie.pl/>

**【予定】日本映画祭【10月24日(土)～28日(水)】**

ワルシャワの映画館 Iluzjon にて「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 15PLN。(英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール:

24日(土)19時～「四十九日のレシピ」タナダユキ監督作品

25日(日)20時～「武士の献立」朝原雄三監督作品

\* 上映前:江戸時代に関する講演

26日(月)20時～「ラーメン侍」瀬木直貴監督作品

\* 上映前:ラーメンのデモンストレーション・販売及び講演(八木皓平氏)

27日(火)20時～「ラーメンより大切なもの～東池袋 大勝軒 50年の秘密～」印南 貴史監督

\* 上映前:ラーメンのデモンストレーション・販売及び講演(UkiUki)

28日(水)20時～「二郎は鮫の夢を見る」デヴィッド・ゲルブ監督作品

\* 上映前:寿司に関する講演(泉寿司アロン・タン氏)

開催場所:ワルシャワ市イルジヨン映画館「Iluzjon」, ul. Narbutta 50a

詳細:<http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/569/unknown-countenances-of-japan-part-ii.html>

主催:在ポーランド日本大使館, 国際交流基金, イルジヨン映画館

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)